

随意契約等見直し計画

平成 22 年 4 月
独立行政法人国立科学博物館

1. 随意契約等の見直し計画

(1) 随意契約の見直し

平成 20 年度において、締結した随意契約等について点検・見直しを行い、以下のとおり、新たな随意契約等の見直し計画を策定する。

今後、本計画に基づき、真にやむを得ないものを除き、速やかに一般競争入札等に移行することとした。

	平成 20 年度実績		見直し後	
	件数	額 (千円)	件数	額 (千円)
競争性のある契約	(70%) 62	(69%) 833,875	(86%) 76	(75%) 981,348
競争入札	(65%) 57	(60%) 722,156	(74%) 65	(68%) 825,938
企画競争、公募等	(6%) 5	(9%) 111,719	(13%) 11	(13%) 155,410
競争性のない随意契約	(30%) 26	(31%) 374,249	(14%) 12	(25%) 226,776
合計	(100%) 88	(100%) 1,208,124	(100%) 88	(100%) 1,208,124

(注 1) 見直し後の随意契約は、真にやむを得ないもの。

(注 2) 件数・金額は、それぞれ四捨五入しているため合計が一致しない場合がある。

(2) 一者応札・一者応募の見直し

平成 20 年度において、競争性のある契約のうち一者応札・一者応募となった契約について点検・見直しを行い、以下のとおり、契約の条件、契約手続き等を見直す必要があるものが見受けられた。今後の調達については、競争性のない随意契約の削減に加え、こ

れら結果に留意、改善しつつ、契約手続きを進めることにより、一層の競争性の確保に努める。

(平成20年度実績)

実績	件数	金額(千円)
競争性のある契約	62	833,875
うち一者応札・一者応募	(58%)	(32%)
	36	268,829

(注)上段()は競争性のある契約に対する割合を示す。

(一者応札・一者応募案件の見直し状況)

見直し方法等	件数	金額(千円)
契約方式を変更せず、条件等 の見直しを実施(注1)	(3%) 1	(1%) 1,289
仕様書の変更		
参加条件の変更	1	1,289
公告期間の見直し	1	1,289
その他		
契約方式の見直し	(%)	(%)
その他の見直し	(%)	(%)
点検の結果、指摘事項が なかったもの	(97%) 35	(99%) 267,540

(注1)内訳については、重複して見直しの可能性があるため一致しない場合がある。

(注2)金額は、それぞれ四捨五入しているため合計が一致しない場合がある。

(注3)上段()は平成20年度の一者応札・一者応募となった案件に対する割合を示す。

2. 随意契約等見直し計画の達成へ向けた具体的取り組み

(1) 契約監視委員会等による定期的な契約の点検の実施

契約監視委員会等により、競争性のない随意契約、一者応札・一者応募になった案件を中心に点検を実施。

(2) 随意契約等の見直し

引き続き、真にやむを得ないものを除き、速やかに一般競争入札等に移行することとした。

(3) 一者応札・一者応募の見直し

仕様書の内容について、過去の契約実績等の条件を緩和することとした。

可能な範囲で通常よりも長期の公告期間（20 日間以上）を確保することとした。

業務開始までの準備、移行期間を確保することとした。

(注) 個別の契約の状況については、各様式に記載